

リニューアルオープン

平成23年7月の新潟・福島豪雨により大きな被害を受けて営業休止となつておりました只見温泉保養センターが、『只見保養センター「ひとつぶるまぢ湯」』として9月1日にリニューアルオープンいたしました。

新保養センターは、今まで以上に町民に愛着をもつていただけるよう「ひとつぶるまぢ湯」という愛称がつけられ、浴室にはサウナや打たせ湯が新



▲関係者によるテープカットのようす

設されました。また、キッズスペースとしてすべり台などの遊具が置かれた部屋や個室も新設されるなど様々な年代の方が利用できる施設となりました。

食事メニューも豊富で価格もリーズナブルですので、ご家族やご友人など多くの方々に「ひとつぶるまぢ湯」をご利用頂き、この施設を町民の方々の憩いの場として欲しいと思います。



▲新設されたキッズスペース



▲清潔感のある食堂



▲ゆっくりくつろげる大広間



▲綺麗になった浴室



▲ゴールの新潟県庁前で

2日目は只見町役場を出発し叶津へ。八十里越区間を越え三条市役所からは目黒町長、国定三条市長とともにゴールの新潟県庁を目指しました。
生徒たちは無事にゴールし、この真夏のイベントを大成功させました。



▲つらい登り坂も頑張りました

8月3日〜4日の2日間にかけていわき市から新潟市までの国道289号線（総延長325Km）を踏破するイベントに只見高等学校の1、2年生25名が参加しました。参加者は班ごとに分かれて自転車を交代で走らせながらゴールを目指しました。

初日は早朝にいわき市を出発し、暑い夏の日差しの中、甲子道路や駒止峠などアップダウンの激しい峠道を自転車で走り只見町に到着しました。

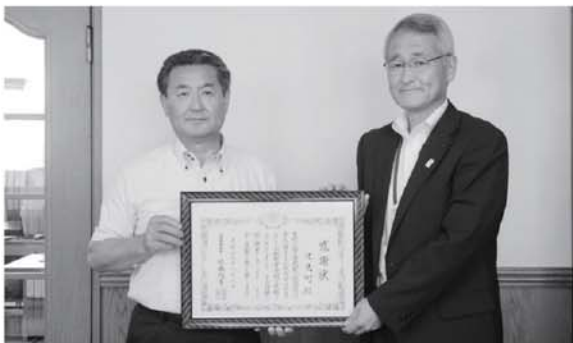


▲目黒町長も踊りました

7月27日に千葉県柏市のJR柏駅前で行われた柏おどりコンテストに町内踊りの各団体から15名、ここに町関係者3名が加わり計18名で参加しました。町のキャッチフレーズである「自然首都・只見」というロゴが入った白と緑色を基調とした浴衣に身を包み、凛とした表情で美しい踊りを披露しました。練習の成果を十分に発揮した結果『千葉テレビ放送賞』を受賞。『千葉テレビ放送賞』は過去最高の結果となりました。



▲受賞記念に参加者で記念撮影



▲佐藤南会津地方振興局長(右)から感謝状を受け取る目黒町長

町は、8月2日に平成24年度個人県民税完納の功績が認められ県知事感謝状を受けました。
この榮譽は、町民一人一人が日頃より納税についてご理解ご協力を頂いている事により成し得たものと深く感謝しております。
今後も継続して完納出来ますよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

八十里越区間早期開通を願って
国道289号フルコース踏破

第36回 柏まつり
「柏おどりコンテスト」に参加!

納税知事
感謝状受賞

只見町のキャラクターを

只今製作中!

町独自のキャラクターを只見町農商工風評被害対策協議会が主体となり現在製作しております。キャラクターデザインはテレビ出演などで話題の粘土キャラクターデザイナーの「おちやっぴ」さんにお願ひしました。

今年度内にはキャラクターが完成し皆さんにお披露目をする予定となっております。完成したキャラクターは町の認知度アップや観光宣伝に活躍してもらいます。



(C)ochappi/share

▲粘土でキャラクターを作りだす粘土作家の「おちやっぴ」さん

会長、職務代理者を選任

農業委員会

任期満了に伴い改選された只見町農業委員会は8月22日に第1回総会を開催し、会長に渡部旦明委員、職務代理者に五十嵐義博委員、山内英明委員を選任しました。委員の任期は平成25年8月12日から平成28年8月11日までの3年間となります。

議席	氏名	住所	公選・推薦	備考
1	五十嵐 義博	只見	公選	職務代理者
2	永井 由美	大倉	議会	
3	酒井 万里子	福井	議会	新任
4	星 和	塩ノ岐	J A	
5	三瓶 新一郎	蒲生	公選	新任
6	菅家 和義	布沢	公選	認定農業者
7	飯塚 春夫	大倉	公選	新任
8	馬場 正一	坂田	公選	新任
9	佐藤 茂	叶津	公選	
10	齋藤 一	福井	公選	
11	酒井 知子	只見	議会	新任
12	目黒 道男	熊倉	公選	新任
13	星 耕一	福井	公選	
14	角田 睦	小林	公選	
15	矢澤 照嘉	黒谷	土地改良区	
16	目黒 紘	塩ノ岐	共済	認定農業者
17	山内 英明	梁取	公選	職務代理者
18	渡部 旦明	小川	公選	会長

下北沢一番商店街振興組合

只見町応援基金に寄附

下北沢一番街商店街振興組合は、商店街のチャリティー活動などで募った収益金を只見町の振興発展の為に役立てて欲しいという事で8月12日に30万円余りを寄付されました。



▲商店街振興組合理事長久保田さん(左)から寄付金を受け取る目黒町長

「中越大震災ネットワークおぢや」
総会・研修会が只見町で開催



▲パネルディスカッションの様子

平成25年度「中越大震災ネットワークおぢや」の総会及び研修会が8月1〜2日にかけて季の郷 湯ら里で行われました。このネットワークは、小千谷市が事務局となり、中越大震災後の平成17年に設立され全国71自治体が加入しています。2日の研修会は公開プログラムとしてテーマを『「元気」が支える地域の再建』とし、パネルディスカッションが行われました。パネリストは東日本大震災で被災された気仙沼市の(有)オйкаワデニム代表

取締役 及川 秀子氏 や、只見町からも黒谷区長 菅家 達朗 氏など計5名が招かれ、自分の体験や経験を交えて地域を再建するにはどうしたら良いのか講演して頂きました。只見町の今後の防災対策を考えていくうえでも大変参考になる研修会でした。

米の全袋放射性物質検査について

昨年、農家の皆様のご協力のもとに行われました米の全袋放射性物質検査ですが、今年も検査を実施いたします。

検査対象となるのは、昨年と同様で出荷・販売米だけでなく、自家消費米、親戚等に配る縁故米、飼料用米、加工用米、酒米、くず米など、全ての米が対象となります。

検査場所も昨年と同じく、福井の朝日建設(株)倉庫検査場になります。

検査の進め方は、供米はJAまたは米屋商店へ一度納めて頂いた後、各業者より検査場へ運ばれます。供米以外の米は、電話にて検査予約を頂いたうえで自己搬入、または集荷依頼をして頂くこととなります。集荷依頼をされる場合は、永井運送(株)に順次集荷に回って頂く事になり、米の全袋検査に関する部分についての運賃負担は生じません。混雑時については3日〜4日ほどお待ち頂くことがありますので、ご協力をお願いいたします。

米の全袋放射性物質検査を進めるため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

〔問い合わせ〕

産業振興課農林班

☎ 0241・82・5230

検査を受けるまでのながれ

